



山九株式会社
 株式会社シーゲートコーポレーション
 日本通運株式会社
 広島荷役株式会社
 マツダロジスティクス株式会社
 株式会社ひろしま港湾管理センター



<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/kokusai/>

中国地方国際物流戦略チーム 🔍 で検索！

《発行：中国地方国際物流戦略チーム》



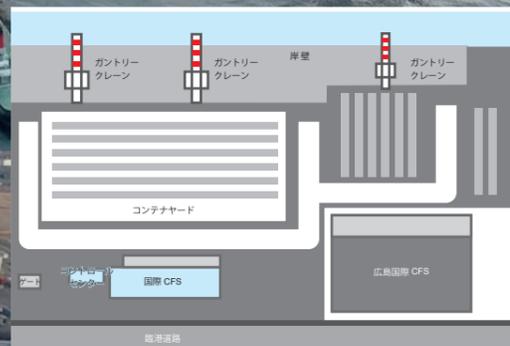
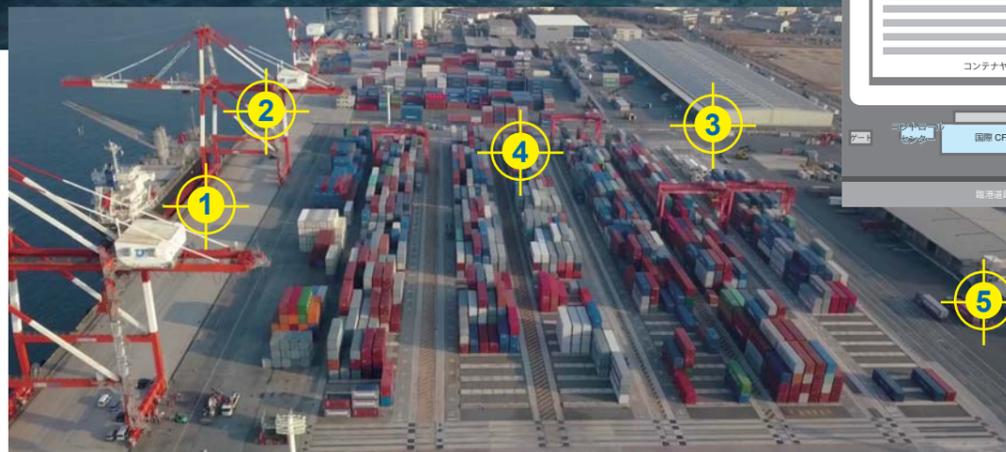
暮らしを支える「港のしごと」

The work of the Container Terminal Port that supports our lives



コンテナターミナルとは

皆さんは海にそびえるキリンのようなクレーンが気になったことはありませんか？実はその場所は、コンテナターミナルと呼ばれる場所です。私たちの生活に欠かせない物流、その中でも船を使った海運は、原材料や燃料のように一度に大量のものを運びたい時や重い物を運ぶ時に欠かせない輸送手段です。ここ広島港国際コンテナターミナルも、私たちの生活に欠かせない存在でありながら、その中で何が行われているかはあまり知られていません。それでは、コンテナターミナル内でどのような仕事が行われているか少しだけ覗いてみましょう！



- ①コンテナ船入港
- ②ガントリークレーン
- ③リーチスタッカー
- ④トランスファークレーン
- ⑤コントロールセンター

国際的な貨物を取り扱うコンテナターミナルは「保税地域」という特別な場所です。外国から運ばれてきてまだ国内の貨物として許可されていないものや、これから外国へと運ばれる貨物が置かれており、普段は一般の人は簡単には入れない場所です。また、コンテナ貨物を載せた貨物船やトレーラー、トラックが集まる場所であり、貨物を積んだり降ろしたりする場所です。

そして、海に面した「岸壁」は、コンテナ船を係留する場所であり、海上輸送と陸上輸送の結節点となる港湾施設の総称です。



①コンテナ船入港に関する仕事



■お仕事の内容をお聞かせください。

私が担当している業務は2種類あります。1つ目は船舶代理店業務というもので、外国から広島港に入港する船に対して、事前に入港許可の申請や届出を行う業務です。2つ目はフォアマン業務というもので、港湾ターミナル内での荷役作業を監督するものであり、具体的には、コンテナ貨物を貨物船から陸揚げしたり、陸から船積みする際、安全に作業ができるように計画を立てる仕事です。

■お仕事の魅力ややりがいはどこにありますか。

広島にしながら多くの外国人の方々と関わることができるということです(中国、韓国、フィリピン、ミャンマー、ベトナム、ロシア、ウクライナ等)。

コミュニケーションの際には、主に英語を使います。英語は学生時代に授業で学んだ程度ですが、仕事で使うフレーズは業務を通じて自然と身につけ、今では必要な会話は問題なくこなせるようになりました。

毎日のように外国人の方と接しているため、海外に行かなくても海外に行った気持ちになります。

■印象に残っているエピソードを教えてください。

外国人の船員さんが体調をくずされたことがあり、広島港の船舶代理店としてサポートできることはないかと考え、各種申請や病院を探すことに奔走しました。すぐに受け入れてもらえる病院を見つけるのに苦労しましたが、最終的に受診することができました。突然のことだったので対応は大変でしたが、病院で船員さんがホッと安心された様子を伺えたときに、とても嬉しかったことが印象に残っています。

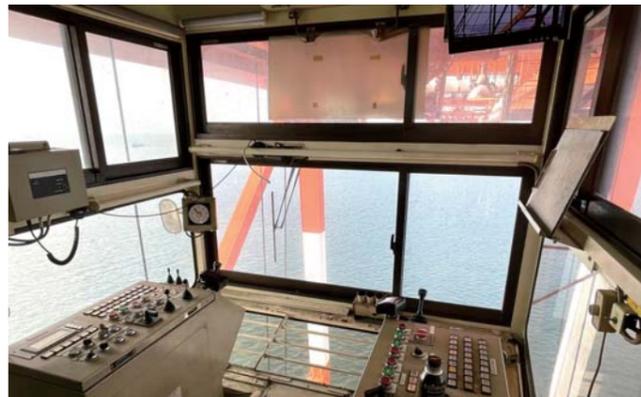
メッセージ

近年、女性の社会進出ということが話題になっていますが、わが社では性別に関係なく業務を担当させてもらえます。社内には女性社員も多いですが、私のような現場の業務を担当する女性はまだ少数派です。それでも、私自身、前例がない中で仕事することで良い前例となり、次の世代に繋げていけるような社会人になりたいと考えています。英会話能力は必須ではなく、色々なことに挑戦をさせてくれるところです。ぜひ一緒に働きましょう！

②ガントリークレーンとは



ガントリークレーン (Gantry Crane) とは、コンテナ船が着く港湾に設置され、“岸壁から船へ”、“船から岸壁へ”、コンテナ貨物などの積み下ろし(荷役)をする巨大なクレーンです。世界中の主要なコンテナターミナルにも設置されていて、コンテナの荷役、また、コンテナヤードなどへの貨物の一時的な保管を行う上で不可欠な機械のひとつです。港湾の岸壁に平行に敷設されたレール上を走行します。貨物船の荷役を行うときには、キリンのような首を寝かせて、コンテナを荷役します。



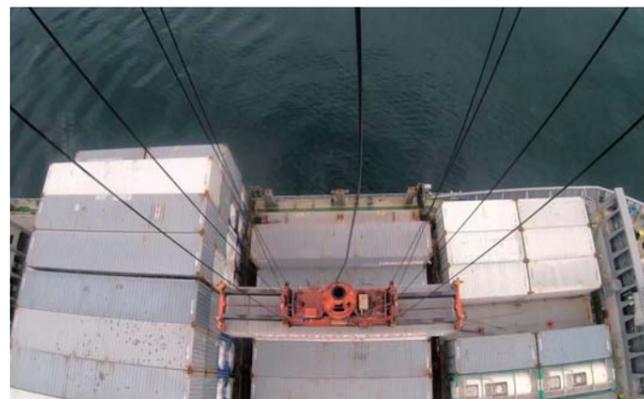
○ガントリークレーン操縦室



○トレーラーからコンテナを吊り上げる



○ガントリークレーン操縦室から



○コンテナをコンテナ船に下す

②ガントリークレーンの仕事



■お仕事の内容をお聞かせください。

ガントリークレーンを操縦して、海上コンテナ貨物の陸揚げ・船積みを行っています。その他にも、船内での荷役作業、沿岸での荷役作業にも関わっています。また、コンテナ貨物だけでなく、車両や木材などの荷役に関わることもあります。ガントリークレーンで1日当たり約400本のコンテナを荷役していますが、私たちの仕事が早く終われば、貨物船は次の目的地に向けて早く出港できます。そのため作業が早いに越したことはないのですが、安全と効率を両立しながら日々頑張っています。

■お仕事の魅力ややりがいはどんなところですか。

広島県内では、広島港と福山港にしかガントリークレーンはありません。そのため、物流関係の仕事の中でも特別な作業であり、他では経験できない業務に携わることによりやりがいを感じています。また、職場が港ということで、海に近く、空気もきれいで環境的に恵まれています。冬の港は寒いですが、ガントリークレーンの運転席は冷暖房が完備されており、また、春や夏は潮風が心地よく、屋外での作業もしやすいと思います。

■印象に残っているエピソードを教えてください。

入社して初めてガントリークレーンに乗務し、操縦した際、想像していたより遥かにスケールの大きなクレーンだと感じたことよく覚えています。最初は操縦する上での距離感や遠近感をつかむのに多少時間を要しました。また、高い位置にある操縦席での作業に戸惑いましたが、慣れれば気にならなくなり、今ではクレーンの上を歩くこともできます。屋外での作業ですので、天候の影響を受け、風速20メートル近い風が吹く場合など、安全を最優先し、作業が予定通りにいかないこともありますが、自然を感じながらというのもこの仕事の醍醐味だと思います。

メッセージ

この仕事は、責任やプライドを持って“物流業界を支えている”という自信が得られるので、ぜひトライしてほしいと思います。私は20年前に入社しましたが、仕事を覚えていくうちに、その面白さややりがいに気づくことがあります。そういう経験があるため、長く働くことができる職場だと思っています。街中などで建設用のクレーンなどを目にする機会はよくあると思いますが、スケールの大きなガントリークレーンは港でしか経験できないものなので、興味のある人はぜひチャレンジしてください。

③リーチスタッカーとは



リーチスタッカー (Reach Stacker) とは、コンテナを吊り上げて移動したり、コンテナ輸送用車両 (トレーラーシャーシ) へコンテナを積んだり下ろしたりする特殊荷役機械です。一見するとフォークリフトのような機械ですが、リーチスタッカーはフォークリフトとは違い、下から貨物をすくい上げて使用するのではなく、コンテナの上部を掴んで持ち上げて作業を行います。コンテナターミナル内を自由自在に動き回ることができ、様々なコンテナを取り扱うことが可能です。



○リーチスタッカーへの乗り込み



○運転席



○操作パネル



○コンテナを運ぶ

③リーチスタッカーの仕事



■お仕事の内容をお聞かせください。

前職では、山林関係の仕事をしていましたが、叔父が港で働いていた縁で、今の会社に入社し18年ほど勤務しています。主な業務は、コンテナターミナルにおいて、リーチスタッカー (大型特殊荷役機械) を使用して荷役作業を行っています。また、現在練習中ですが、ガントリークレーンで海上コンテナ積卸し作業をすることもあります。リーチスタッカーで取り扱うコンテナ貨物は、20フィートと40フィートの2種類のサイズがあります。

20フィートが約6m、40フィートは約12mの長さがあり、それぞれ異なる距離感を捉えて、コンテナを確実に持ち上げられるよう、自ら調整して操作するところは腕の見せ所です。

■お仕事の魅力ややりがいはどんなところですか。

この仕事の魅力は、日本にいながら海外との繋がりを感ぜられることだと思います。コンテナ船の船員さんのほとんどは外国人の方で、中にはフレンドリーな方もいます。私は外国語を話すことは出来ませんが、身振り手振りでもコミュニケーションを取れることは面白いと感じます。また様々な「物」が詰まったコンテナを取り扱うので、「物」の流れにも興味が湧きます。港の仕事は、全てにおいてスケールの大きな仕事だと感じています。

■印象に残っているエピソードを教えてください。

コンテナターミナル内では、リーチスタッカーのような特殊車両やトレーラーシャーシ等の様々な車両が走行します。そのような作業環境の中で、大型で重さが何十トンもあり、特殊コンテナの運搬中は前方の視界が狭くなるリーチスタッカーを安全に運転することには神経を使います。他方、年に数回開催されるコンテナターミナルの見学会では、私が作業をしている様子を見た子供たちから「おおーっ！」と歓声を上げて喜んでくれます。また、リーチスタッカーをご存知ない大人の方にも感動してもらえることもありますので、運転している者として誇らしい気持ちになります。

メッセージ

この仕事には経験値を積み上げていく必要があります。私も小さな機械から運転を始めて、徐々に大きな機械に乗務するようになりました。この仕事にはコツコツとステップアップしていく楽しみがあると思います。

④トランスファークレーンとは



トランスファークレーン(Transfer Crane)は、コンテナヤード内のコンテナを運搬・整理するときに使われる巨大な門型のクレーンです。

広島港では、環境に配慮したハイブリッドタイプのトランスファークレーンが活躍しており、コンテナをヤード内にコンテナを4段程度積み上げることが可能です。



○コンテナの吊り上げ



○運転席



○ハイブリッドタイプトランスファークレーン



○4段のコンテナ積み上げ

④トランスファークレーンの仕事



■お仕事の内容をお聞かせください。

トランスファークレーン(門型の自走式天井クレーン)という特殊車両に乗り、コンテナヤード(コンテナ貨物の保管場所)においてコンテナ貨物の搬入搬出を行っています。

運転席に搭載されているモニター上に、搬入搬出するコンテナ貨物の情報が表示され、それによって荷役作業を行っています。具体的には、コンテナ貨物船から陸揚げされ、コンテナヤードまで運搬されたコンテナ貨物を保管したり、コンテナヤードに保管されているコンテナ貨物をトレーラーに積み込む作業であり、多いときには、1日に150~200本のコンテナ貨物を取り扱うこともあります。

■お仕事の魅力ややりがいはどんなところですか。

この仕事をする上で一番大切なのは安全です。幸いなことに、私は事故を経験したことはありませんが、小さなミスでも、それが重大な事故に繋がる可能性があります。一方で、安全に作業を行うことを大前提として、日々の業務に取り組むことにより、仲間からの信頼も厚くなったと実感しており、やりがいにもつながっています。

■印象に残っているエピソードを教えてください。

私は2010年に入社するまでトランスファークレーンなどの大きな乗り物に乗った経験がなく、初めてトランスファークレーンに乗務したときは不安がありました。運転席の下に見える各種装置やコンテナとの距離感をつかむことが難しく感じていましたが、日々の業務で経験を積んでいくうちに技術が向上し、先輩方と同様に問題なく業務を行うことができるようになりました。このように、日々の積み重ねにより自身が成長できたことが、自分にとって一番印象に残っています。

メッセージ

この仕事では巨大なクレーンや特殊車両に乗ることができますので、特に乗り物に興味がある方々と共に率先して、港湾業界を楽しく盛り上げて行きたいです。運転経験が無くても、各種指導を受けて、様々な乗り物に乗れるようになります。乗り物に興味がない方にとっても、国際海上コンテナを取り扱う仕事を通じて、世界と繋がるという面もありますので、国際的な仕事に関心がある方にも是非、港湾業界に興味を持ってもらえればと思います。

⑤コントロールセンターとは



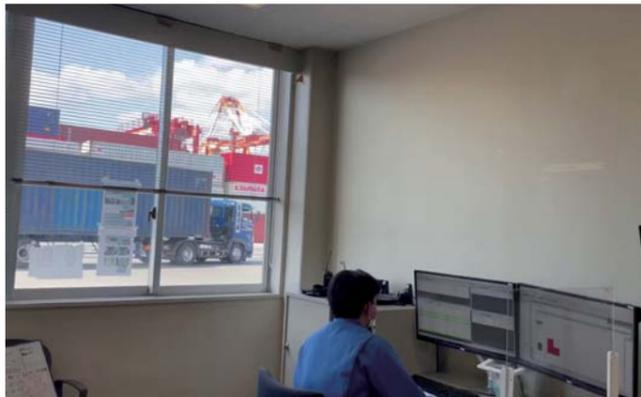
広大なコンテナヤードで、船からのコンテナ取り出し、船に積むまでの運搬業務を指揮・管理する場所が「コントロールセンター」です。専門のプランナーやターミナルオペレーションシステムが作成した手順に従って、貨物船への荷役やコンテナの受け渡しなどを的確に指揮し、ヤードでの荷役作業がスムーズかつ安全に行われるように指揮・管理しています。



○ヤードの指揮・管理



○無線でのやり取り

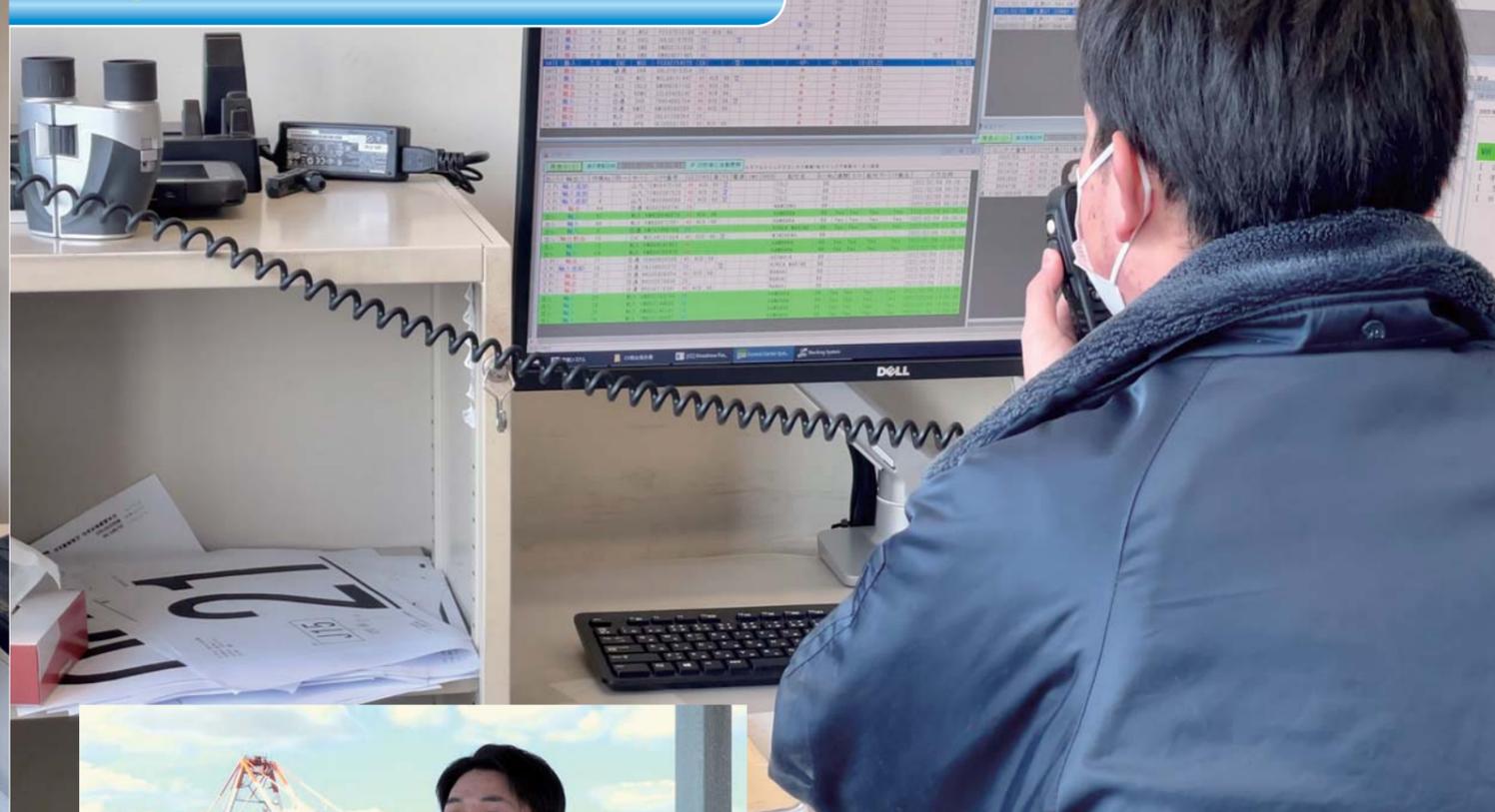


○コントロールセンター横を行きかうトレーラー



○コントロールセンターのモニター

⑤コントロールセンターの仕事



■お仕事の内容をお聞かせください。

私の仕事はコンテナターミナルに着くコンテナ貨物船のフォアマンというもので、簡単に言うと、船内の荷役作業の監督者です。その他にも、コンテナターミナルのコントロールセンターで全体の管理業務も行っています。また、お客様や同業他社さんのやりとりも日常業務として行うなど、様々な業務を担っています。また、船の仕事が好きなので、船内の荷役作業を最も好んでいます。

プライベートでは小学生の頃から17年間サッカーをしており、中学生のときにはキャプテンを務めました。今の仕事においては、

現場の人をまとめたり、指示を出すことが多いので、その経験は少なからず役に立っていると思います。

■今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

高校生の頃から「将来は物流系の仕事に就きたい」という漠然とした思いを持っていましたが、会社が行った職場見学に参加するまで、港を訪れたことはありませんでした。もちろんコンテナを見たこともなく、仕事内容も分からなかったのですが、見学するうちにこの仕事に興味を湧いてきて、入社を決意しました。将来は広島港の窓口として活躍できる人材になりたいとの思いで、日々の仕事を頑張っています。

■お仕事の魅力ややりがいはどんなところにありますか？

コンテナ貨物船が到着してから出発まで荷役作業を行います。安全に神経を使いながら、一連の業務を終わらせた際は、いつも強い達成感を味わうことができます。

荷役中は予定通りに行かないこともありますが、トラブルが起こった際の対処方法を常に考えながら取り組んでいます。

メッセージ

高校生のうちに「この仕事がしたい！」と決めるのはなかなか難しいと思います。どの業界に進んでも、大変なことや面白いことはたくさんあると思います。今、就活されている方や学生の方にとって、仕事を決めるということは人生の中で一番のターニングポイントになると思うので、焦らずゆっくりと、自分の考えに合った企業に出会えばいいのではないかと思います。そして、もし仕事を探す中で、この港湾業界に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。